



ののいち

NONOICHI
2012 平成24年 4
No.685



主な内容

- 花と緑 椿まつり 2012 2
- 平成24年度 市の予算 6
- 野々市市第一次総合計画スタート... 11

文化会館フォルテにてライトアップされたツバキ
(平成23年4月撮影)

大会結果

囲碁大会

- A級 ①西永正雄 ②大西英明
③酒井昭男、村田明
B級 ①橋爪健治 ②吉田昌
③田ノ岡忠史、角章
C級 ①小路秀明 ②橋場勉
③片岸哲夫、中村慶司
D級 ①若宮秀明 ②橋爪宏

将棋大会

- A級 ①松村浩二 ②山岸和哉
③武田茂明、古田征史
B級 ①松本謙 ②竹田正則
③野崎拓己、久木忠夫
C級 ①鈴谷久太郎 ②宮本克基
③松田俊郎、小林聖明
小学生高学年 ①番井拳志郎 ②濱邊堅哉
③齋藤太一、林悠佑
小学生低学年 ①野崎遼人 ②中村紹太朗
③塙拳史郎 ④中村巧史朗

椿絵画展ジュニアの部

(優秀賞) 青木彩花、池島功晟、伊藤諒人、稻垣葵、大崎隼輝、大田瞳、大屋喜一、岡田麻衣果、清水蒼太、清水茉衣、清水結加、谷優凜、月間優、中口詩織、中野勇輝、西川爽空、新田優、畠山凜花、濱口菜緒、広崎小雪、福井明日花、福田あい、増田海晴、水上真奈、椋木結衣、村尾穂香、村上ひかり、山田あい、山本彪磨、若林柚杏

お礼

椿まつりを盛会のうちに終了することができました。ひとえに皆さまのご理解とご協力の賜物と心から感謝し、お礼申し上げます。

市・文化協会・椿まつり実行委員会



花と緑 ののいち

椿まつり

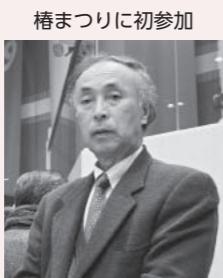
2012



今年で22回目を迎えた「花と緑 ののいち 椿まつり」が3月17日・18日の両日、文化会館教育センターで開催されました。昨年は、東日本大震災の発生により開催が見送られ2年ぶりとなり、市民をはじめ県内外の椿まつりファンが会場に詰めかけました。オーブニングでは、ツバキを題材とした各種展示の会員が野々市椿ONDOを踊り、まつりを盛り上げました。また、キャラクターのつティが登場し、終日、来場者を楽しませていました。



金沢椿の会は約50人の会員で活動しています。今年から椿まつりに参加し、ツバキを贊助出展しました。かれこれ40年、ツバキの交配などをハウスで行っています。ツバキを愛する心に境界はないですし、ツバキを育てる風土は同じ石川の地です。これからもこういった交流を続けていきたいですね。



椿まつりに初参加

金沢椿の会理事長
松井 清造さん

中学生の時からボランティアとして参加し、人生の半分以上を椿まつりと一緒に生きてきました。これまで、子どもたちもこの会場で楽しめるようにいろんな企画を考えました。今年は綿菓子だけですが、また、楽しいことをたくさん考えていきたいと思います。



子どもも楽しめる
まつりを目指して16年

青年ボランティア団体
**Rise
八島 英里さん**

椿まつりは、ツバキが町花木に選定されたとき、もつとツバキを広く知つてもらいたい、という思いから始まりました。市民憲章にも「緑ゆたかな住みよいまち」が謳われていますが、市民の皆さんには常日ごろから緑を育てる環境づくりを大切にして欲しいと 思います。



椿の普及に力を注ぐ

椿愛好会
佐久間 由孝さん

今年は展示作品の数が多く、会場のレイアウトも春らしく爽やかで、過去最高のイベントになりました。まつりの前日に市内各所を回って提供いただいたツバキが、艶やかに咲き誇っていました。まつりも22回目を迎えることができ、今後も市花木ツバキを大切する心を育みたいと思います。



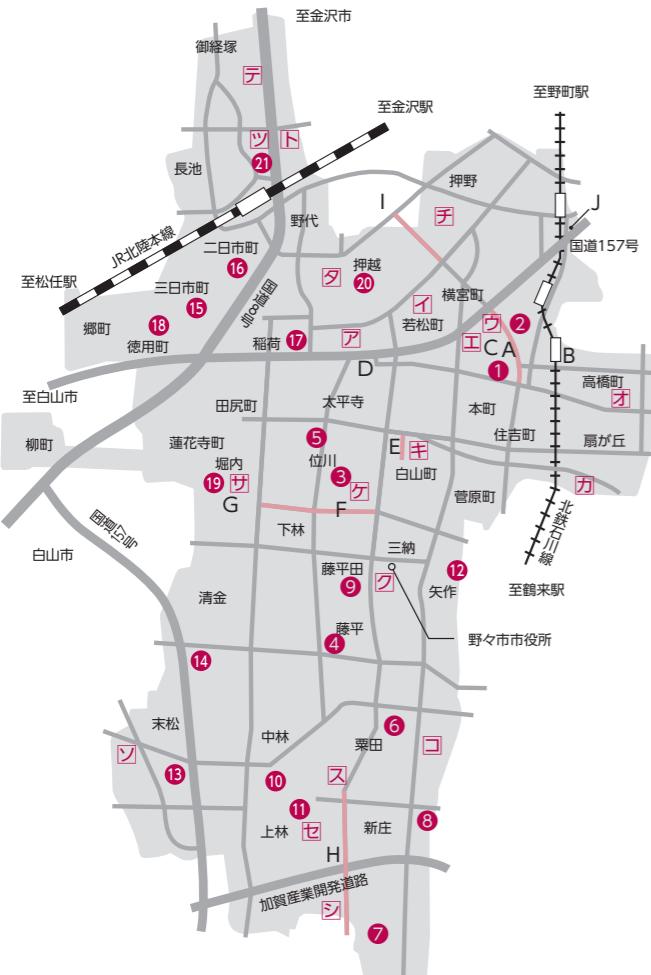
まつりを主催

文化協会会長
内村 栄一さん

椿まつりとともに歩む

野々市の春はツバキとともに！

■市内ツバキマップ



市民協働課職員が市内を巡り、とりまとめた一覧表です。
このほかにもツバキの見どころがあるようでしたら、市民協働課までお知らせください。

■問い合わせ 市民協働課 ☎227-6056

全国椿サミットを野々市で！



2月24日(金)、第22回全国椿サミット秋大会が山口県萩市で行われました。椿サミットは、平成2年(1990)に野々市町が開いた全国椿フォーラムをきっかけとして、翌年から毎年、全国椿サミット協議会に加盟している自治体で開かれていました。からは、栗市長、北村議長をはじめ文化協会や椿愛好会員など27人が参加しました。同年に開催された協議会総会で栗市長は、平成29年(2017)春、市制施行5周年や北陸新幹線金沢開業を記念して、全国椿サミット大会の誘致を目指すことを宣言。県内では金沢市と珠洲市が協議会に加盟しており、市と連携しながら進めています。



ツバキの里まちめぐりコース

Aコース（縄文の里・御経塚のツバキ）約2.5km

御経塚史跡公園 → 経塚公園・泉の広場 → 馬場川遊歩道 → 佐那武神社 → 御経塚東公園 → 御経塚史跡公園

Bコース（野々市まちなかのツバキ）約3.1km

中央公民館(本町2丁目)(B) → 布水つばき通り(本町2丁目)(A) → 横宮緑地(横宮) → 北横宮公園(横宮) → 若松町から石公園(若松町) → つばき公園(本町6丁目) → 文化会館フォルテ(本町5丁目)(C) → 本町通り(北国街道) → 布市神社(1) → 中央公民館(B)

Cコース(神社と公園・街路の一押しツバキ)約4.1km

野々市市役所・あらみや公園(三納) → 中奥八幡神社(藤平田) → 公園つばき通り(下林)(F) → 中央公園(下林) → 白山神社(太平寺) → 池上白山神社(位川) → 野々市市役所・あらみや公園

Dコース(いにしえを辿る富奥のツバキ)約4.3km

末松廃寺跡公園(末松) → 大兄八幡神社(末松) → 春日神社(中林) → 林郷八幡神社(1)・南部公園(上林) → 木呂川1号緑地(新庄2丁目)セ → 木呂川緑道(新庄地内)(H) → 木呂川2号緑地(新庄6丁目) → 【のっティ・新庄北バス停、または、のんキー・栗田6丁目バス停から】末松廃寺跡公園



昔から、市内の家々や神社などではツバキを大事に育ててきたと言われています。ツバキには多くの品種があり、初冬から5月の連休まで花を見ることができます。例年、椿まつりが開催される3月下旬から4月中旬ごろ、ツバキを見る絶好の季節と言われています。サクラの花は豪華でその開花は一目でわかります。ツバキは大木の下でひそやかに花を咲かせるため、車で通っても見落としてしまいます。椿十徳にある謙遜という言葉が似合う花です。

この春は、野々市の野と街を歩きながら、ツバキの花を楽しんではいかがでしょう。

■神社

地区	町内	番号	神社名	椿の状況
本町	本町2	①	布市神社	約2.5mの「野々市」が1本。他にツバキ1本。
	本町2	②	白山神社	なし。周辺ではツバキを植えている家が多い。
富奥	位川	③	池上白山神社	境内は狭いがツバキが多い。大木もある。
	藤平	④	錦橋八幡神社	小さなツバキが2本。
	太平寺	⑤	白山神社	鳥居の後ろに4m近くのツバキ。一斉に咲く花は見事。東側にもツバキが5本程度。
	粟田	⑥	豊田日吉神社	ツバキが大小10本以上。5m近くの大木もある。
	新庄2	⑦	富樫郷八幡神社	境内にはツバキはないが、周辺には大きなつばきの木が多い。
	新庄3	⑧	菅原神社	ツバキが大小10本以上。5m近くの大木もある。
	藤平田	⑨	中奥八幡神社	ツバキが大小10本以上。5m以上の木が多い。
	中林	⑩	春日神社	ツバキが大小10本以上。5m以上の木もある。
	上林	⑪	林郷八幡神社	大きなヤツバキが多数。「野々市」も2本。
	矢作	⑫	藤岡諏訪神社	なし。周辺の田畑にツバキが植えられている。
	末松	⑬	大兄八幡神社	ツバキが群生している。2月ごろから4月まで楽しむことができる。
	清金	⑭	清金中宮神社	小さいツバキが1本。
郷	三日市町	⑮	郷八幡神社	ツバキが4本程度。
	二日市町	⑯	荒川神社	ツバキが10本程度。大木が多い。
	稻荷	⑰	稻荷神社	ツバキが5本程度。大きな老木もある。
	徳用町	⑱	光松八幡神社	ツバキが2本。
	堀内	⑲	明治八幡神社	拝殿後に、5・6本のツバキの幼木。
押野	押越	⑳	白山神社	大きなツバキが2本。
	御経塚	㉑	佐那武神社	境内の南側にツバキの大木。

注：「野々市」はツバキの品種名

■公園

地区	町内	記号	公園名	椿の状況
本町	本町6	□	つばき公園	公園南側に様々な品種のツバキが150本程度植えられている。
	若松町	□	若松から石公園	低木だが、公園の周りに20本前後のツバキがある。
	横宮町	□	横宮緑地	2から3mのツバキが5本程度。ツバキのモニュメントもある。
	横宮町	□	北横宮公園	5m近くの大木。
	高橋町	□	せせらぎ公園	3m近くのツバキが20本程度。
	扇が丘	□	ホタルの里公園	2m前後のツバキが4本程度。
	白山町	□	ろくらぐち公園	2から3mのツバキが3本程度。
富奥	三納	□	あらみや公園	公園南側に「野々市」が30本程度植えられている。H17年に植栽。
	位川	□	位川公園	公園東側に2本。
	栗田1	□	栗田中央公園	ツバキの低木が7本程度。
	下林3	□	野々市中央公園	随所に様々な品種のツバキが植えられている。3月下旬から4月までツバキを楽しむことができる。
	新庄2	□	木呂川1号緑地	公園南側にツバキの垣根。
	新庄6	□	木呂川2号緑地	公園南側にツバキの垣根。
	上林4	□	野々市南部公園	公園西側でツバキ「野々市」を育成。その他に、園内に数本のツバキ。
	未松	□	末松廃寺跡公園	公園南側と北側駐車場にツバキが群生。サクラとツバキと一緒に楽しむことができる。ichi構の酵母はここから採取。
郷	稻荷4	□	みその公園	3m近くのツバキが公園東側に4本。
	押野1	□	押野西公園	公園西側に50本程度のツバキ。
押野	御経塚1	□	御経塚史跡公園	大木の下にツバキが随所に育っている。
	御経塚2	□	経塚公園・泉の広場	イオン御経塚西側の公園。15本程度のツバキ。
	御経塚5	□	御経塚東公園	国道8号沿いの公園。4m前後のツバキが50本程度。

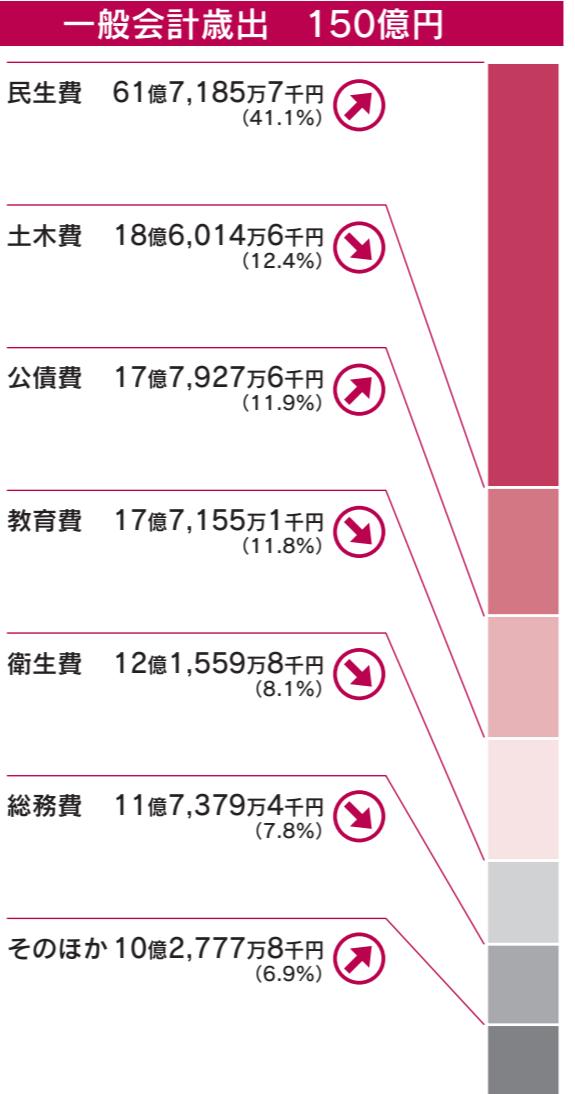
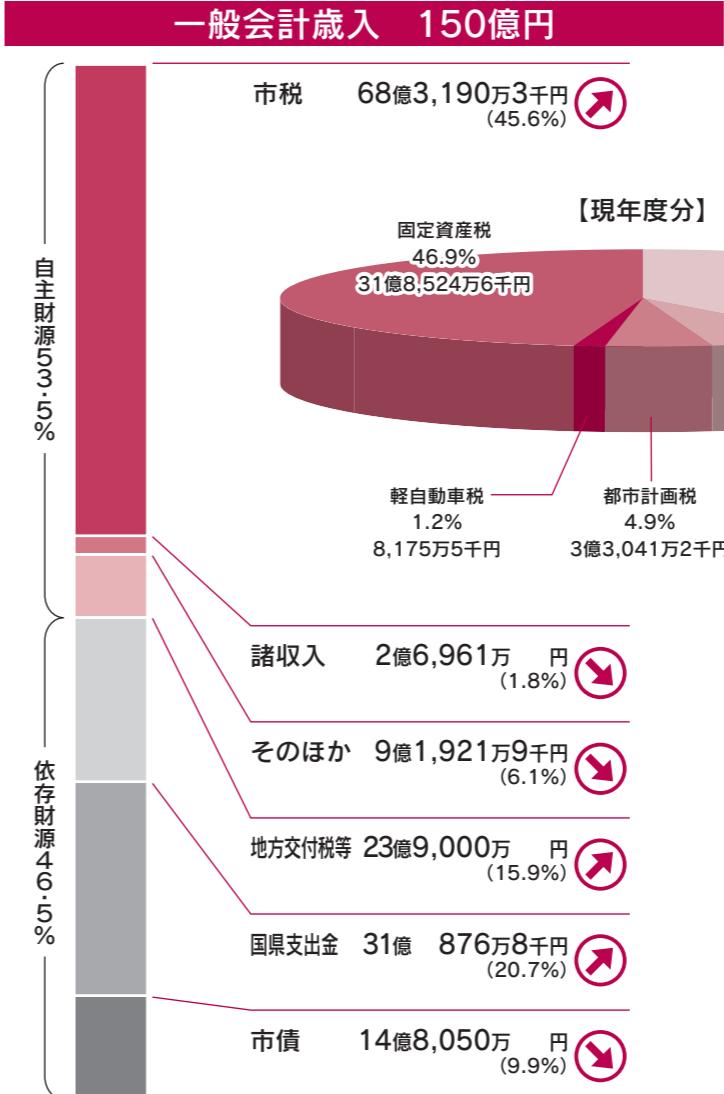
■街路・ポケットパーク・公共施設

地区	町内	記号	場所	椿の状況
本町	本町2	A	布水つばき通り横宮～本町2南	植樹帶に「野々市」が植えられている。
	本町2	B	北陸鉄道工大前駅	駅前に6本程度のツバキ。
	本町2	C	中央公民館	玄関前に2本のツバキ。椿まつりの頃が見ごろ。
	本町4	D	文化会館フォルテ	玄関前に2本の老木「侘助」と「臘月」、3月上旬から見ごろ。建物の周りに八重のツバキが多数、4月の初めが見ごろ。
	本町5	E	歩行者自転車道路	消防署北側に20本程度のツバキ。
富奥	下林	F	公園つばき通り(明倫高南～三納)	様々な品種のツバキが植樹帶に植えられている。
	下林	G	街路記念樹生産組合圃場	市民野球場南側の田で「野々市」を育苗。2月下旬から3月が見ごろ。
	新庄	H	木呂川緑道(1号緑地～2号緑地)	約1.2kmに渡って断続的にツバキの並木や植え込みが続く。1号緑地のある新庄2丁目地内にはツバキの木が多い。
押野	押越	I	布水つばき通り布水中学校前～八日市	植樹帶にツバキの低木。
	押野4	J	押野4丁目ポケットパーク	国道下のポケットパークに3m近くのツバキが3本。

平成24年度

市の予算

皆さんが納める税金や、国・県からの交付金・補助金は、さまざまな形で私たちの生活をより良くするための大切な財源です。どれくらいのお金が納められ、どのように使われるのか、1年間の収入と支出の見積もりについて、お知らせします。



◆そのほかの内訳◆

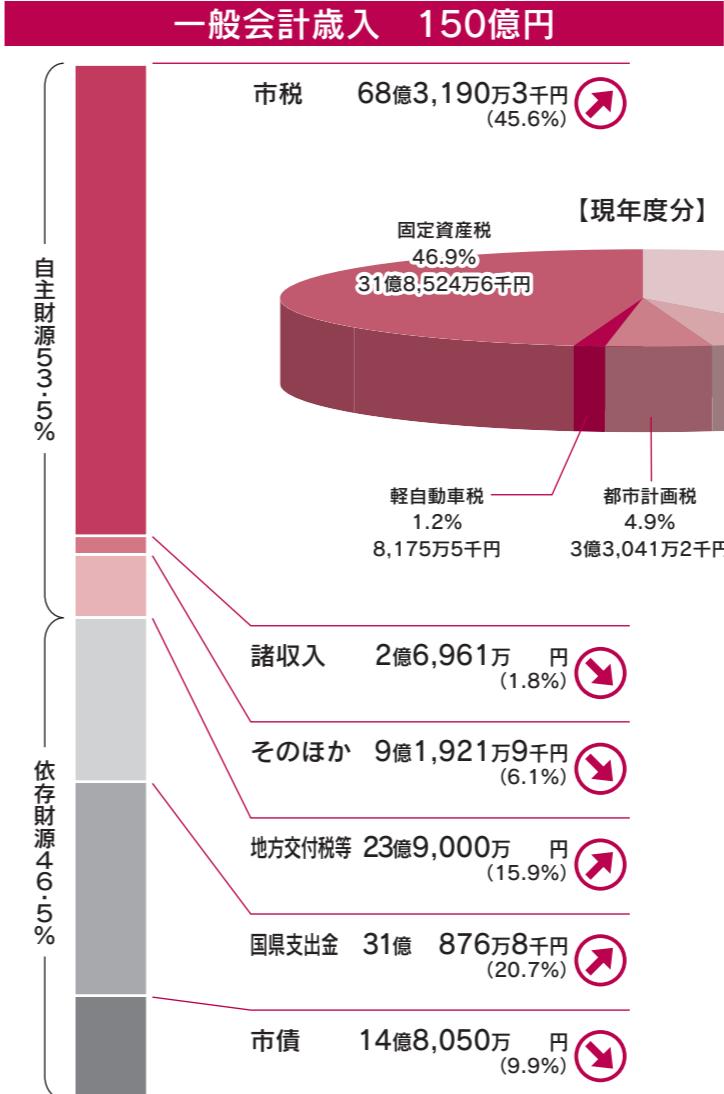
消防費	5億5,260万4千円
議会費	1億6,690万6千円
商工費	1億5,222万6千円
農林水産業費	7,666万8千円
労働費	6,937万1千円
災害復旧費・諸支出金・予備費	1,000万3千円

↗は前年度予算と比較して増額、↘は前年度予算と比較して減額、()内は構成比を表しています。

一般会計歳出

目的別では、民生費で生活保護費や児童扶養手当の増などから9億6千万円の増、土木費で公営住宅等建設事業費や北西部土地区画整理事業費の減などから3億8千万円の減となります。性質別では、人件費・扶助費・公債費の義務的経費が7億8千万円の増となります。これは市制移行に伴う県からの権限移譲による扶助費の増が主な要因です。他の経費では、物件費で市制移行に伴う準備経費、記念事業の減などから1億6千万円の減となります。

歳入の多くを占める市税は、年少扶養控除廃止による個人市民税の増、中南部区画整理の換地による固定資産税の増などから2億2千万円の増となります。一方、基金(預金)からの繰入金(取崩)は、3億1千万円の増となります。一方、基金(預金)からの繰入金(取崩)は、3億4千万円の見込みとなります。



特別会計	
国民健康保険	歳入・歳出 44億7,500万円 ↗
後期高齢者医療	歳入・歳出 3億8,900万円 ↗
介護保険	歳入・歳出 21億9,000万円 ↗
下水道事業	歳入・歳出 19億6,500万円 ↗
特別会計は特定の事業を行うため、一般会計とは別に収支が独立しているものです。	

水道事業会計	
収益的収入・支出	7億300万円 ↗
資本的収入	2億3,000万円 ↗
資本的支出	6億500万円 ↗
資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、損益勘定留保資金などで補います。水道事業会計は、公営企業会計として市民の生活向上を目的として市が経営する会計です。	

一般会計歳出を性質別にみると	
人件費 (職員の給与など)	24億1,679万9千円
扶助費 (福祉・医療など)	35億7,919万3千円
公債費 (借金の返済)	17億7,916万3千円
物件費・維持修繕費・補助費等 (消耗品費や各種団体への補助金など)	44億1,333万8千円
普通建設事業費 (施設の建設や道路の整備など)	16億4,471万円
その他 (各特別会計への繰出金や予備費など)	11億6,679万7千円



平成24年度予算の規模

一般会計	150億円 (前年比 1億6,000万円増)
特別会計合計	90億1,900万円 (前年比 2億2,100万円増)
水道事業会計	13億800万円 (前年比 7,100万円増)
合計	253億2,700万円 (前年比 4億5,200万円増)

平成24年度の新規事業などについて 紹介します

市が行う事業には、市民に必要なサービスを公平に提供すると
いう特徴があります。野々市市第一次総合計画のもと、限られた
財源の中で将来都市像である「人の和で椿十徳生きるまち」を目
指して、今年度は、地域福祉計画、まちづくり基本条例の策定な
ど「ともに創るとともに育む」まちづくりを盛り込んでいます。
また、大規模改修事業など教育環境の充実、区画整理や都市計
画街路などの都市基盤整備事業にも引き続き取り組んでいます。



民生費・衛生費

消防団車両等の購入 616万円 小型消防ポンプ、資機材輸送車を購入する。	地域福祉計画策定業務 539万円 地域福祉を総合的かつ計画的に推進するための計画。パブリックコメントの実施やシンポジウムを開催し、計画を推進する。	子ども予防接種費用助成事業の拡大(ロタウイルス) 370万円 子ども予防接種費用助成事業の対象となる予防接種の種類にロタウイルスワクチンを追加する。
自動車騒音環境基準常時監視調査の実施 175万円 権限移譲により市が実施することになった調査。市内14区間を5年間のローテーションにて行う。	子宮頸がん検診液状化検体細胞診(LBC)の導入 172万円 既に実施している子宮頸がん検診の検査精度を向上させるため、液状化検査方法を導入する。	介護認定審査会 【特別会計】790万円 平成24年4月より介護認定審査会を設置する。

商工費・労働費

	女性センター改修工事 4,000万円 老朽化した女性センター（昭和58年建築）の屋根及び外壁、空調設備を改修する。	JR野々市駅南口駐車場整備事業 680万円 ゲート式有料駐車場の整備を行う。
---	---	--

土木費

人にやさしい道づくり 1億6,244万円 道路利用者が安全で快適に移動できる空間を確保するための歩道整備や塗装整備を実施する。	都市交通円滑化対策 6,336万円 市民生活の基盤となる移動手段を確保するため、生活交通ネットワーク計画策定、のっティ運行委託、シャトルバス運行費補助を行う。	定住促進 2,000万円 自らの居住の用に供するために市内において戸建て住宅を取得し、その住宅に居住したものに対して奨励金を交付する。（建て替え除く）
建築開発指導事務 291万円 特定行政庁として建築物等に関する確認審査及び指導事務などを実施する。	街並み・まちづくりシンポジウムの開催 20万円 歴史的景観を守りつつ、市の賑わいや活性化、交流人口の拡大につなげる市民シンポジウムを開催する。	ミネラルウォーター製造・販売 【水道事業会計】200万円 市の水道水のおいしさを再認識していただくため、500ml・2lのペットボトル詰めミネラルウォーターを製造し、各種イベントや会議等で配布・販売する。

総務費

鉄道軌道安全輸送設備等整備補助 (北陸鉄道石川線) 1,468万円 北陸鉄道が石川線・浅野川線の利用者の安全確保のために行う設備投資に対する補助 国1/3、県1/3、沿線自治体1/3	市勢要覧の発行 130万円 市の概要や統計等をとりまとめて記載し、野々市市を紹介する。
石川県央地区地方税滞納整理機構へ参加 70万円 徴収体制の一層の強化を図るべく、石川県央地区地方税滞納整理機構に参加する。石川県、かほく市、白山市、野々市市の1県3市で構成。	
町内会長ハンドブックの更新 18万円 市制施行や組織再編に伴い新たに作成する。	市のCM制作 17万円 CM制作（実写、アニメの2本）を行い、市の魅力のPRに活用。
総合計画審議会の設置 14万円 市長の諮問機関として総合計画の進捗状況の調査及び審議等を行う審議会を設置する。	(仮称) まちづくり基本条例の策定 12万円 諸々の条例や計画の上位に位置し、自治体運営の基本原則を定めたまちの憲法というべき条例。平成26年度に制定予定。

市民一人当たりの一般会計予算額は

一般会計の予算額を、2月末現在の住民基本台帳人口4万8,077人で割ると、一人当たり31万2,000円。目的別にこの内訳をみると、次のようにになります。

■ 議会費	3,472円
■ 総務費	2万4,415円
■ 民生費	12万8,374円
■ 衛生費	2万5,284円
■ 労働費	1,443円
■ 農林水産業費	1,595円
■ 商工費	3,166円
■ 土木費	3万8,691円
■ 消防費	1万1,494円
■ 教育費	3万6,848円



2012.4.1 野々市市第一次総合計画スタート

市では、まちづくりの新たな指針となる「野々市市第一次総合計画～ともに創る ともに育む～」を策定しました。この計画は、本市の将来の発展に向けて、2012（平成24）年度から2021（平成33）年度までの10年間の本市の取り組むべき目標を描いたものです。

市が「将来、こんなまちになりたい！」という目標を描き、その実現を目指すための政策や施策をとりまとめた、本市の最上位計画を紹介します。

野々市市第一次総合計画書は、市ホームページのほか企画課窓口、市立図書館で閲覧することができます。

策定に至るまでの経過	
平成23年12月定例会において基本構想の議決	市では、この計画を策定するにあたり、策定審議会と策定委員会作業部会という、ふたつの組織を設置しました。策定審議会は、市を代表する各種団体の長や学識経験者で組織し、さまざまなお意見をいただきながら、計画を審議しました。策定委員会は、公募いただいた市民、有識者、職員で組織し、自由に意見やアイデアを出し合い、計画素案をまとめてきました。
平成23年12月16日 議会（全6回）	議会（全14回）
平成23年9月30日 平成23年第6回市議会についての答申	平成22年1月18日 野々市町次期総合計画策定について諮問
平成23年7月11日～8月12日 パブリックコメントの募集（基本構想）	平成22年1月18日～平成23年9月30日 作業部会（全14回）
平成23年1月17日～2月16日 パブリックコメントの募集（基本構想）	平成22年1月18日～平成23年9月30日 審議
平成23年9月30日 野々市市次期総合計画	野々市市第一次総合計画



キーワードは「市民協働」

この計画は、「市民協働」という考え方を重視して策定しました。計画の策定にあたっては、平成22年1月から審議会を行い、作業部会から上がってきた素案をもとに100以上の項目を精査し、議論を重ねてきました。今や地方公共団体の財政事情はどこも厳しい状態です。なにもかも市におまかせといった考え方ではよりいまちづくりは出来ません。市がやろうとしていることを市民が理解しサポートしたり、市民間、地域間で連携して活動していくことが重要になってしまいます。努力なくして決していまちはできないと思います。

昨年11月には人口5万人を達成し、野々市市が誕生しました。これからも住みやすいまちをつくるために、新しく入ってくる人にやさしいまちづくりを推進していく必要があります。野々市は平地が広く、工場や住宅が建ちやすい恵まれた地域だと思います。この土地柄を生かし、さらに発展して欲しいと思います。

interview



丸山 利輔さん
次期総合計画策定審議会会長
【石川県参与（県立大学担当）】

教育費



富奥公民館・周辺整備計画 2,750万円

老朽化した富奥公民館（昭和51年建築）の建て替えに向け、周辺整備も含め工事設計を行う。

スポーツランドポンプおよび配管等改修工事 1,800万円

老朽化したスポーツランドのポンプ及び配管を改修する。

野々市中学校校舎空調整備計画 380万円

主に夏場の教育環境の改善を図るために空調整備工事の実施設計を行う。

デジタル資料館の公開 168万円

市所蔵の埋蔵文化財、民俗資料、歴史資料、重要文化財「御経塚遺跡出土品」等をデジタル化し、市ホームページで公開する。



デジタル教科書の導入 34万円

小学校低学年を対象にデジタル教科書を導入し、学ぶ楽しさと理解力のアップを図る。

国指定史跡の再整備 17万円

史跡末松廃寺跡の再整備の検討と実施に向け整備委員会設立準備会を立ち上げる。

市債の現在高・年度末見込み（単位千円）

市債の24年度末の残高は23年度末に比べ、約3千万円減少し181億8,324万6千円となる見込みです。

	平成23年度末 現在高見込額	平成24年度中増減見込み		平成24年度末 現在高見込額
		起債見込額	元金償還見込額	
総務	8,553,965	959,600	544,313	8,969,252
土木	4,130,420	204,200	709,364	3,625,256
教育	3,307,675	96,500	115,629	3,288,546
民生	865,536	0	70,163	795,373
消防	689,948	600	26,227	664,321
その他	665,812	219,600	44,914	840,498
合計	18,213,356	1,480,500	1,510,610	18,183,246

※そのほかの内訳：農林・衛生・公営住宅・災害復旧

予算については、市ホームページでも紹介しています。<http://www.city.nonoichi.lg.jp>
問い合わせ 財政課（☎ 227-6031）



市債というと借金というマイナスのイメージが強いと思います。しかし、皆さんの生活向上のための都市基盤（学校や道路など）の建設費を将来的に利用する方にも負担してもらい、世代間の公平性を図るという役割も担っています。



将来都市像

椿十德

生まるまち



まちの発展は総合計画とともに

総合計画は、その自治体の最上位計画であるとともに、その地域社会の抱える固有の課題を明らかにし、発

は、これまで四次にわたり下記の総合計画を定め、計画に基づいてまちづくりを進め、着実に発展してきました。また、総合計画の顔となる将来都市像の移り変わりを見ると、まちは、まちのこれまでの歩みや課題を踏まえた目指すべき地域社会の姿です。

将来都市像と市民協働

この野々市市第一次総合計画では、将来都市像を「人の和で　椿十徳　生きるまち」としました。これまでの将来都市像はハード整備やソフト事業を思い描くことができますが、今回の総合計画の将来都市像は、地域コミュニティのあり方を説いています。「何をつくるか」「何をする

将来都市像と市民協働

この野々市市第一次総合計画では、将来都市像を「人の和で　椿十徳　生きるまち」としました。これまでの将来都市像はハード整備やソフト事業を思い描くことができますが、今回の総合計画の将来都市像は、地域コミュニティのあり方を説いています。「何をつくるか」「何をする

本市の課題は多くの分野にわたりりますが、新しいコミュニティの構築とそこから生まれる人材の地域参加が、その解決に向けた共通の必要事項です。そして、新しい公共の担い方として、「市民協働のまちづくり」というコミュニティづくりをこの計画は提案しています。コミュニティが成立する2大要素は「信頼」と「規律」です。将来都市像の「人の和」は「信頼」、「椿十徳」は「規律」であります。これらが生きるまちづくりができる、すべての市民が幸せに生活できれば、筋ができるとこの計画はまとめていきます。

「和」と「徳」と コミュニティ

か」ではなく、「どうやつてするか」つまり「市民協働」という考え方を前面に出し、行政計画から1歩踏み出した市民とともにつくるまちづくりを意識した計画だからです。

これまでの総合計画

	計画名称	計画期間	将来都市像	主な出来事
第1次 総合計画	野々市町の総合計画	昭和45年～ 昭和55年	明るく豊かな田園都市 学園都市	石川県農業短期大学開校（昭和46年）、 「野々市町 愛と和の町民憲章」を制定（昭和55年）
第2次 総合計画	野々市町長期計画	昭和56年～ 昭和65年	自然と創意の調和による快適な生活環境を創造する人間中心都市	第1回ののいちじょんからまつり開催（昭和57年）、第1回花と緑ののいち90'椿まつり開催（平成2年）
第3次 総合計画	野々市町新総合計画 愛と和のシンフォニー	平成3年～ 平成12年	出会いを大切に ゆとりと生きがいを実感できるまち	コミュニティFM局「えふえむ・エヌ・ワン」開局（平成7年）、第1回「BIG APPLE in Nonoichi」開催（平成7年）
第4次 総合計画	総合計画21 共有と連携のまちづくり	平成13年度～ 平成23年度	にぎわいとやすらぎに満ちた快適・文化都市	「のっティ」試験運用開始（平成15年）、野々市市誕生（平成23年）

平成21年12月から計画策定に関わり、まち全体の現状・課題や方向性などの「基本構想」と産業、医療福祉、教育文化などの各専門分野の「基本計画」について行政と協働で意見やアイデアを出し合ってきました。私は、野々市に住んで26年目になります。野々市が本当に大好きです。今 の子どもたちには、もっと野々市のことを好きになつて、郷土に愛着をもつてもらいたいです。子どもはいずれ大人になり親になります。その時に、自分の子どもに野々市の良さや魅力を話せる人になつて欲しいと思つています。そのためには、自分が好きになれます。決して人まかせではなく、市民一人一人がまちを良くしようという意識をもつて活動することで、『好き』なまちが生まれる、そんな気がします。

interview



熊谷 貴秀さん
作業部会 第一分科会(環境・産業・
都市基盤・防犯・防災)担当【市職員】

将来都市像を実現する政策

8つの政策をまちづくりの基本方針、基本目標に掲げました。また、この政策をもとに、3つの重点プロジェクトを定め、関連する施策について重点的、戦略的に取り組んでいきます。

政策	施策
1、一人ひとりが担い手のまち 【市民生活】	1 市民協働のまちづくり、2 ふるさと意識の醸成と愛着心の向上、3 多文化共生と国際・国内交流の充実、4 思いやりのまちづくり
2、生涯健康 心のかよう福祉まち 【福祉・保健・医療】	1 地域福祉社会の創造、2 健康づくりの推進、3 高齢者と障害のある方の福祉の推進、4 子育て支援の推進
3、安心とぬくもりを感じるまち 【安全安心】	1 防災対策の充実、2 消防と救急体制の充実、3 交通安全対策の強化、4 防犯対策の強化、5 消費者の利益の保護
4、環境について考える人が住むまち 【環境】	1 環境負荷の少ない社会の構築、2 生活環境の保全、3 環境保全のために行動するひとつづくり
5、みんながキャンパスライフを楽しむまち 【生涯学習・教育】	1 知・徳・体のバランスが取れた教育の充実、2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり、3 生涯学習社会の充実、4 文化・スポーツ活動の充実、5 文化的継承と創造と担い手の育成
6、野々市産の活気あふれるまち 【産業振興】	1 商工業の活性化、2 農業の活性化、3 勤労者福祉の充実、4 観光資源の発掘
7、暮らし充実 快適がゆきとどくまち 【都市基盤】	1 魅力ある街並み形成と住環境整備、2 交通の円滑化と公共交通網の充実、3 雨水排対策の充実、4 循環する水資源の適正利用
8、住み続けたい！をみんなの声でつくるまち 【行財政運営】	1 開かれた市政の推進、2 人材育成の推進、3 安定した行財政運営の推進

重点プロジェクト

- I.市民が主役のまちづくりプロジェクト／・市民協働のまちづくり・地域ネットワークの強化・誇りと愛着を持つひとづくり
 - II.地域資源の創出プロジェクト／・知的資源の地域へ還元・産学官連携による新産業の創造・おもむきのある街並みの整備と保全
 - III.集いとにぎわい創出プロジェクト／・ヒトやモノの集いとにぎわいの創出・住み続けたい環境の創出・人にやさしい生活環境づくり



市の良い所や課題を見つけるため、作業部会のメンバーが4グループに分かれ、市内全域を歩きました。「ここ の歩道は幅がせまい」「ここには街灯がない」など普段車を運転しているだけでは分からぬことを発見しました。この活動をもとに、見て感じたことと、また普段思っていることを話し合いい、まちを良くするためにどうすれば良いかをみんなで考えてきました。

阪神・淡路、そして東日本大震災以降「絆」という言葉をよく耳にします。市民一人一人が協力して助け合いができるまちになるよう皆さんと一緒に考え、行動していきたいと思います。そのためには、隣近所とのコミュニケーションが重要だと思います。地域のコミュニティ作りは、いざという時に役立ちます。一人では出来なくとも人が集まることで出来ることは広がります。将来に向けて、人とのつながりの輪を広げていきましょう。

市内を歩き肌で感じる

interview



蓮池 順子さん

野々市市都市計画マスター プラン

「安全・快適な生活環境を備えた魅力ある定住都市を目指して」

野々市市都市計画マスター プランとは、本市の最上位計画の「野々市市第1次総合計画」および県が定める「都市計画区域マスター プラン」に即し、都市の健全な発展と、秩序ある整備を図るために、土地利用、都市施設の整備および市街地開発事業に関する基本的な方針を定めるものです。



計画の主な方針

○今後の高齢社会を迎えるにあたり、健康づくり、歴史散策や、緊急時の避難通路確保のためにも、歩いて暮らせる「まちづくり」を進めていきます。

○既成市街地における、地域の持つ歴史や伝統を生かした「まちづくり」を進めています。

○目標年次	平成37年(2025年)
○対象区域	野々市市全域



野々市市役所組織改編



- 3 異動
 - 税務課を「総務部」から「市民生活部」へ異動。
- 産業建設部「建設課」の業務を分割し、「建築住宅課」を設置
- 市民生活部に「市民協働課」を設置
- 広報情報課の廃止
- 建築住宅課：建築指導と開発住宅

- ・市民協働課：市民協働、広報・広聴および市民相談
- ・企画課：企画、情報および交通政策
- ・総務課：総務、文書法規および財産管理
- ・住民課
- ・しあわせ支援課
- ・保健センター

- 総務部「総務企画課」を
- 総務課と企画課に分割

1 名称変更

市では、市制施行に伴い今後増大する業務を効率的に執行するために組織の見直しを行います。平成24年4月1日施行の機構改革として、主に総務部門および住民生活部門を改編し、5部27課局体制となりました。

2 新設および分割

(旧) 住民生活部	↓	(新) 市民生活部
(旧) 住民課	↓	(新) 市民課
(旧) しあわせ支援課	↓	(新) 福祉総務課
(旧) 保健センター	↓	(新) 健康推進課

部	担当部署	担当名	電話番号	メールアドレス
総務部	秘書課	秘書	227-6021	hisho
	職員	227-6022		
	総務	227-6026	soumu	
	文書法規	227-6027		
	管理	227-6057		
	企画課	企画情報	227-6028	kikaku
産業建設部	企画課	交通政策	227-6118	
	企画課	地域振興室	227-6160	chiiki
	財政課	財政	227-6031	
	財政課	契約入札	227-6032	
	産業振興課	農業振興	227-6081	sangyou
	産業振興課	商工振興	227-6082	
教育文化部	建設課	建設管理	227-6086	kensetsu
	建築住宅課	建築指導	227-6136	kenchiku
	建築住宅課	開発住宅	227-6087	
	都市計画課	都市計画	227-6091	toshikeikaku
	都市計画課	街路公園	227-6092	
	企業管理課	企業管理	227-6102	kigyou
教育文化部	上下水道課	下水道	227-6096	jougesui
	上下水道課	上水道	227-6106	
	教育総務課	庶務	227-6113	kyouiku_soumu
	教育総務課	学校施設	227-6114	
	学校教育課	学校教育	227-6162	gakkou
	生涯学習課	生涯学習	227-6116	
教育文化部	生涯学習課	青少年	227-6117	shougai
	文化振興課	文化振興	227-6121	
	文化振興課	文化財	227-6122	bunka
	スポーツ振興課	スポーツ振興	227-6126	sports

* Eメールはすべて@city.nonoichi.lg.jpと続きます

野々市市第2次男女共同参画プランの答申

テーマ 「あなたもできる協働デザイン 夢ある未来都市」

3月13日(火)、平成24年度から10年間の本市の男女共同参画施策の基本計画である、「野々市市第2次男女共同参画プラン」の策定について審議を重ねてきた、男女共同参画審議会から市長に対して答申書が提出されました。審議会の名古道功会長(写真左)は、「これまで第1次プランの推進や条例の制定により、一定の成果は表れているが、依然としてさまざまな課題が残されています。男女共同参画社会を実現するためには、これらの課題を市民の解決すべき問題として捉え、意識づける必要があります。市民と行政の共通認識の形成に努めていただきたい」と述べました。



これを受け、粟市長は、「今後とも男女共同参画意識の啓発を行うことで、社会全体で問題意識の醸成に努め、市民と行政が共に力を合わせて住みよいまちづくりを目指していきます」と答えました。

希望に満ちた門出

市内小中学校 卒業式

市内で3月10日(土)に中学校、16日(金)に小学校で卒業式が行われ、小学校432人、中学校394人が思い出の詰まった学び舎を後にしました。

このうち、野々市中学校では、BGMに合唱コンクールでの歌声が流れる中、卒業証書が手渡されました。橋口校長が、「思いやりの心を持って輝かしい未来に進んでいくて欲しい」と激励しました。卒業生を代表して水上真利那さんが「それぞれの夢に向かってしっかりと歩んでいきます」と決意を述べました。



今年のichi椿も上々！

女性協議会が市政バスで見学

2月27日(月)、女性協議会会員24人が市内の中村酒造の酒蔵を見学しました。会員は、仕込みを終え、発酵中の野々市ブランド酒「ichi椿」のタンクをのぞきこみ、甘い香りを堪能しました。

これから約2週間後に醸造、瓶詰され、3月17日(土)の椿まつりで新酒が披露されました。今年は冬の寒さが厳しかった分、出来上がりが期待できるとのこと。会員には、ichi椿の酒粕がお土産に配られ、一足先に、食卓でもその香りを楽しんだことでしょう。



みんなで気持ち良い汗をかきましょう！

のっティ体操DVD完成

3月27日(火)、地域の助け合い、健康増進・介護予防、市の魅力の発信をコンセプトに、子どもから高齢者までが楽しく体を動かす「のっティ体操」が完成しました。2月25日(土)・28日(火)には、体操の普及に向けたテキスト用映像の収録が行われました。

参加した子どもたちは、「難しかったけど楽しかった。元気よく笑顔で踊れたよ」と話し、振り付けを担当した二木あつ子さんは、「幅広い年齢層の人に楽しんでもらえるように振り付けを考えました」と普及に期待を込めました。



子どもたちの笑顔がいっぱい

なかよし子育て大集合！

子育て中の保護者とのつながりを育みながら、地域における家庭教育の支援者として活動している市家庭教育サポーターの存在を知らせる目的で、2月25日(土)、情報交流館カメリアで「なかよし子育て大集合！」が開かれました。

毎年行われているこのイベントに今年は、100組の親子が会場を訪れ、絵本の読み聞かせ、紙芝居、ゲーム、牛乳パックを使った手作りコーナーで、サポーターとのふれあいを楽しんでいました。



よりよい地域づくりへの第一歩

市とイオンの連携推進連絡会設置に関する協定

2月22日(水)、市役所で市とイオントリーデル株式会社イオン御経塚店・野々市南店が連携推進連絡会を共同で設置し、協定を締結しました。これは、地域貢献を掲げるイオンと市が年3回の連絡会をもち、地場産物の展示即売や事業の共同開催など連携の具体策を検討し、安全安心のまちづくりを目指していくものです。

また、3月9日(金)には、災害時に同施設を避難場所として使用することなどを定めた防災協定を結びました。



まち全体を生涯学習のキャンパスに

寿大学校・大学院修了式

60歳以上の市民が、野々市の歴史や生きがいを学ぶ寿大学校・大学院の修了式が、3月6日(火)中央公民館で行われました。式では、大学校36人、大学院104人の修了生を代表して、徳野静子さんと村山国さんが修了証書を授与されました。魚野学校長は「市では、まち全体を大学のキャンパスにみて、皆さんの学習意欲に応えるべく生涯学習の場を提供しています。ぜひ今後も積極的に学んでください」と期待を寄せました。大学校生の吉田正則さんが答辞を述べ、全員で「ふるさと」を合唱して修了を祝いました。



市の歴史や観光名所を英語で紹介

Map Project2012発表会

2月27日(月)、石川県立大学で県立大生25人とアメリカのローズハルマン工科大生20人が共同で制作した野々市本町通りと白山市鶴来の英訳版観光地図の発表会が行われました。発表会では、市の本町通りや鶴来の町並みを紹介。また、地図制作に協力した里まち俱乐部の帆戸宏典会長と県観光マイスターの辻貴弘さんに地図が贈呈されました。28日(火)には両大学生が2人1組になって喜多家住宅や水生毛住宅などを見学しました。県立大生は地図を片手に慣れない英語で、懸命に観光案内をしていました。

オススメの本

●子ども向け



「さくらのさくひ」

矢崎 節夫／文
フレーベル館

山の古いさくらの木は、毎年みんなを喜ばせていましたが、ついに咲かなくなってしまい…さくらを守りたい友だちの強い思い、最後のページには胸が熱くなります。

図書館お役立ち情報：近頃なんだかつまらない、というティーンズは、2階YAコーナーへ。毎日を面白くするヒントが隠されています。

●大人向け



『タイタニック ケン・マーシャルのスーパー・アート』

R.アーチボルド／文 ニュートンプレス

J・キャメロン監督の映画製作にも影響を与えた、迫真的リアル・イラスト集。船出から華麗な船内生活・沈没・発見まで、百年前の出来事を追体験できます。

●今月のおはなし会

とき：4月14、28日(土)

午前11時から

場所：児童図書コーナー

楽しい絵本や紙芝居の読み聞かせです。
誰でも自由に参加できます。

●今月の展示図書

テーマ「県子ども読書月間にちなんで」

※特別展示につき、展示図書はすべて貸出できます。

Culture

平成23年度 市俳句協会新年句会

2月23日(木)、中央公民館で奥村誠一路先生、西田さい雪先生に参加いただき新年句会が開催されました。当日の秀句抄をご紹介します。

西田さい雪先生特選		奥村誠一路先生特選		会長杯		秀句抄	
大山家梁も氷柱も太かりき	細大根育つベランダ新所帶	連山の一夜に白し実千両	雪搔いて雪搔いてその置き所	背を軽く叩き入試の娘を送る	堰音のリズム変りて春隣	海鳴りに向かふ雄叫び寒稽古	
和沢	榎木	和沢	小林	六田	榎木	山田	南
靖子	弘子	靖子	明子	弘子	深雪	明子	邦夫

3月10日(土)、「北陸鉄道石川線の利用促進を考えることを目的に昨年7月に発足したものの、現在は約350人の会員が集まっています。総会では、藤力会長が、「自分たちの力で、この路線を盛り上げていきたい」とあります。そのあと、北陸鉄道から石川線の歴史や現状についての説明がありました。平成24年度の利用促進の取り組みについて協議が行われ、沿線の名所をまわる市民対象の電車ツアーや市内3駅周辺の清掃活動を行っていくほか、沿線で連携し、利用促進を図ることや情報を発信を進めることとなりました。

JR野々市駅南口新しい街。野々市つばきの郷宅地(保留地)分譲中! ●販売面積 50.00坪~ ●販売価格 1,100万円~

「野々市の好きなところは、まちがきれい」「人がたくさんいる」「広い公園が多い」など子どもたちが感じている野々市市は、子どもたちの郷土になっているのだろうか?との疑問から、児童館で取り組んだ「歴史めぐり」も1年目が終了しました。

また、住んでいる地域の歴史に関心を持ってもらおうと、御経塚遺跡での勾玉、土器作り、古代米おにぎりの試食など古い歴史を体験しました。「昔の人って布団がないんや」「いろんな形の石を大事にしつったんやね」と古代の人々を想像できる遺跡が身近にあることを知りました。

次は、新幹線現場の見学です。郷町の高架橋では真っ直ぐに伸びるレールを見ながら「すっごいね! 東京はどっちやろ?」「できたら一番に乗ってみたい」とこれから始まる歴史に期待を持つ声が聞かれました。

歴史は古いものと考えがちですが、古代の遺跡と未来に繋がる新幹線。どちらも歴史となります。その中で、今を生きている子どもたちが歴史を作り繋いでいくと思うと大きく夢が広がるようでした。24年度は、内容も新たに「発見! ののいちinじどうかん」として年9回の実施を予定しています。次世代を担う子どもたちが、郷土を愛する気持ちを持って育つ「ふるさと教育」になるよう願っています。

かがやくひとみ

「ののいち歴史めぐり
in じどうかん」
押野児童館



野々市検定

～新しい発見があるかも!?～⑬

正解は
22ページで

市の魅力を伝える野々市検定第13弾。布市神社の境内の史跡に関する問題を作成しました。楽しみながら挑戦してみてください。

（1問目）『風をくる一村雨に虹きての市人はたちもをやます』という歌碑があるが、この句は誰が詠んだものか?

- A.一休 B.道興 C.文觀 D.蓮如

（2問目）天然記念物の銀杏（公孫樹）。この銀杏は、戦国期この地に館を構えたある人物の墓標との言い伝えがあるが、その人物とは誰?

- A.甲斐敏光 B.木村孝信 C.富権政親 D.細川勝元

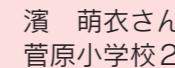
（3問目）江戸時代に日照りで水が不足したとき、石を担いで町内を廻ると雨が降ったことから名付けられたとされる雨乞石。別名、何と呼ばれているか?

- A.いのこ石 B.いぼ石 C.おなで石 D.力石

わたしの夢



パン屋さんになりたい サッカー選手になりたい



ぼくの夢

木村 佳樹くん
菅原小学校3年

濱 萌衣さん
菅原小学校2年

『もしも』の時の安心と信頼

会員募集中 フューネラル俱楽部 JAのいちコスモスの会

J.A.指定ホール フューネラルホール 天祥閣
野々市市矢作2丁目111番地 電話(076)294-4141

フリーダイヤル 0120-800-448
URL http://www.tensyoukaku.co.jp

スピード給付の県民共済

こども型 総合保障型
熟年型 新型火災共済

お問い合わせと資料のご請求は

0120-63-5011

076(263)5011(代) 076(263)5107

共済取扱団体/石川県認可 石川県民共済生活協同組合

〒920-0901 金沢市彦三町2-1-10 真和ビル3F

ホームページアドレス http://www.ishikawa-kyosai.or.jp/

携帯電話からはこちらへ http://kyo-sai.jp/



JR野々市駅南口
新しい街。

野々市つばきの郷
宅地(保留地)分譲中!

●販売面積 50.00坪~ ●販売価格 1,100万円~

野々市市北西部土地区画整理組合

石川県野々市市三日市町104-1 TEL. 076-246-3301

URL http://www.dimp.net/tsubakinosato/

小川	高橋	保科	楢谷	紺谷	扇	了津	番場	惣田	高澤	小西	子の名									
獅門	一樹	陽	心晴	蒼衣	鈴時	結愛	柚季	夏唯	星風	瑛登	うぶごえ									
華彦	絵達	貴中	義未	宗時	拓裕	大美	智夢	智希	正智	涼子	ののいち									
菜郎	菜郎	之貴	訓來	子廣	也拓	誠美	章智	介希	和智	志涼	70									
矢作	位押	越下	林二	市町	代清	白御	原住	吉住	吉坂	下大地	ののいち									
2	2	1	3	2	3	5	5	5	5	5	人									
西藏	日暮	田原	長井	森	中島	前野	岩永	清水	勘北	青山	坂下									
始	涼寧	結羽	陽鞠	虹翼	茜那	侑真	瑛司	太郎	春真	心湖	夢奈									
桂真	直昭	美綾	政乃	市正	里宏	沙之	香靖	衣子	泰宏	里明	千利									
桂子	一美	夫紀	実乃	幸子	沙之	久里	香廣	健宏	香人	里剛	隆惠									
桂	押野	白	栗田	野	下	新庄	稻荷	本町	稻荷	押野	菅原									
細原	3	3	1	3	4	5	1	4	2	6	1									
弘	姓氏	姓氏	姓氏	姓氏	姓氏	姓氏	姓氏	姓氏	姓氏	姓氏	姓氏									
隆昌	姓氏	姓氏	姓氏	姓氏	姓氏	姓氏	姓氏	姓氏	姓氏	姓氏	姓氏									
本津	前住所	横川	佐藤	山本	山口	清水	宮下	海藤	杉村	杉森	庄田									
幡町	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3									
住吉町	住所	柚愛	礼奈	奈央	泰基	悠基	真帆	眞帆	遙斗	相斗	増井									
南富	土中	二入	森谷	溝佐	漆宮	川源	北永	渡中	植岡	伊湯	高納									
山肥	村法	口野	口藤	煙島	江村	井辺	野田	藤本	笠中	福堀	木村									
彩史	里憲	和一	靖保	奈惠	美裕	裕翔	す誠	晶	加大	由田	奥野									
乃朗	加太	恵史	美憲	子啓	希志	美広	裕翔	す誠	晶	真梨	増井									
新小	平松	市	本庄	新庄	本富	青中	加矢	白本	金澤	白本	高納									
松庄	1	1	1	1	6	3	4	1	4	1	5									
新庄	1	1	1	1	6	6	6	1	5	1	5									
新庄	2	2	2	2	5	5	5	1	4	1	4									
上野	福島	伊藤	瀧野	大網	山田	眞館	鍛田	藤垣	福岡	米田	久保									
美津子	義信	時子	芳恵	美喜	信子	節子	敬子	永三	外治	ツキ	川渕									
新庄	御経塚	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2									
83	75	89	65	65	77	65	82	85	86	75	88	58	81	66	89	62	80	78	48	年齢
歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳

戸籍の窓

H24.2.16~H24.3.15受付分

個人情報保護のため本人・ご家族の希望があつたものを掲載しています

■2月末現在の人口

()は前月比
人口 48,077人 (+ 33)
男 24,371人 (+ 8)
女 23,706人 (+ 25)
世帯数 20,667世帯 (+ 5)

■2月中の人の動き

転入 228人
転出 228人
出生 62人
死亡 29人

※住民基本台帳に記載されている数字です

リレー方式で市民の方々を紹介しています

“いきいき” ののいち 70



子どもへ
のびのび元気に育って欲しい！
もう少しわんぱくでもいいかな！

佐藤 紗耶香さん／徳用町
【右から】潤一さん、蓮之佑くん

野々市市で暮らしてどうですか？

野々市に引っ越してきて、1カ月が経ちました。近くには保育園や児童館もあるし、公園もできると聞いているので、子どもがいっぱい遊べる所があってうれしいです。

広報についてのご意見？

全然、野々市の事が分からないので、広報紙で情報収集しています。今、一番見るのは子育て応援ひろばのページですかね。

自分の性格を一言であらわすと？

思い込みが激しいところかな。

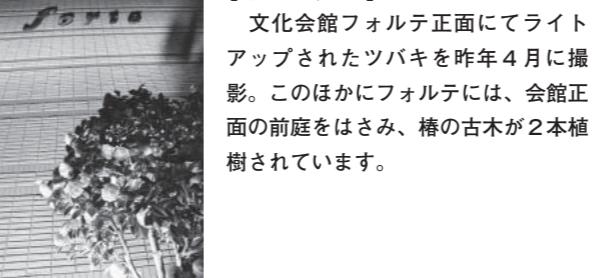
趣味やリフレッシュ方法はなんですか？

最近はあまり趣味の時間がとれていないですが、家族の写真を撮って、アルバムにきれいにまとめるのが楽しいです。ほかにはビデオカメラで、子どもの成長の様子を撮るのもリフレッシュの一つですね。

目標やチャレンジしてみたいことは？

私が子どものころは親にたくさんいろいろな所に連れていってもらったので、今度は私が子どもをキャンプとか旅行に連れて行って、いろいろな体験をさせてあげたいなと思っています。

【今月の表紙】



文化会館 フォルテ正面にてライトアップされたツバキを昨年4月に撮影。このほかにフォルテには、会館正面の前庭をはさみ、椿の古木が2本植樹されています。

野々市検定

(問題は20ページ)

【第1問】 B 1486年(文明18)、京都の僧侶聖護院道興は、白山から下山して野々市に立ち寄ったときにこの歌を詠んでいる。

【第2問】 B 木村孝信は、織田信長の臣家であった木村重成の伯父と言われ、松任城主鏑木右衛門大夫の壇になつた武将である。孝信の館跡は神社から北側一帯と言われている。

【第3問】 D 源義経が奥州へ向かう途中、家来の弁慶が富樫氏の館に立ち寄つて、余興にこの石を軽々と扱い遠くに放り投げたという伝説があり、若松地内には、この石が落ちたとされる『力石』の小字名が残っている。

編集後記

今月号は椿まつりの開催に合わせて、市内のツバキマップを作成しました。3月中旬に、市内を巡回。今は寒さのせいか、つぼみのままのものが数多くありました。また、ふと住宅に植えていた光景がたくさん見られました。市では、椿まつりなどで苗木を配布していますが、今後家庭のツバキが増え、将来花いっぱいのまちになればいいなと思います。(N・H)

FM放送 76.3MHz
ホーメタウン野々市
月～金／6:30～7:00
11:15～11:55
16:00～17:00

テレビ広報
デジタルハイビジョン009ch
ののいちふれあい通信
8:00～8:30
18:00～18:30
金沢ケーブルテレビネット

ラジオ広報
えふえむ・エヌ・ワン

音楽グループ Camellia
カミーリア

声で聴く「広報ののいち」問い合わせ 橋野 千恵子(☎248-2521)
音楽グループ「カミーリア」が、毎月広報ののいちを録音したテープを作っています。
また、地域ポータルサイト「ののいちタウン情報局」でも、聞くことができます。
目の見えない人だけでなく、活字が読みにくくなつたという人もご利用ください。

R100
VEGETABLE
GIL INK
古紙配合率100%再生紙を使用しています
Printing Naturally

JR野々市駅と公立松任石川中央病院を結ぶ シャトルバス「のんキー」が運行



シャトルバス「のんキー」の実験運行を3月1日(木)より開始しました。これに先駆けて、2月29日(水)には市役所で車両のお披露目を兼ねた運行開始式が行われました。式の中で粟市長は、「今回のルートは、市民の皆さんから要望が寄せられていた野々市駅から公立松任石川中央病院への直通ルートです。のっティに続く新たな公共交通として市民へ広く浸透して欲しいと思います」とあいさつしました。続いて、運行を担うのいちバスの隠岐公史社長が車両の説明を行い、運転手の細川幸雄さんが安全運転宣言を行いました。

「のんキー」はJR野々市駅から文化会館フォルテ、市役所、県立大学などを経由した公立松任石川中央病院までのルートで1日5往復します。初乗り運賃は170円で乗車距離によって金額が異なり、小学生以下は半額です。

■発行:野々市市
〒921-8510

■編集・市民協働課

石川県野々市市三納1丁目1番地
(076)227-6056(直通)

■野々市市公式: http://www.city.nonoichi.lg.jp
■Eメール: info@city.nonoichi.lg.jp